

## 平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

〔令和3年1月19日  
林業課  
ため池・農地防災担当〕

## 1 要旨

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和2年12月末時点での進捗状況について報告する。(令和2年度末 発注目標：農地・農業用施設，林道施設の全箇所)

## 2 進捗状況

(単位：箇所)

施設名	実施箇所 ※	発注済			工事完了		
		11月末まで ①	12月 ②	12月末まで ①+②	11月末まで ①	12月 ②	12月末まで ①+②
農地・農業 用施設	4,325 〈4,924〉	3,405 (78.7%)	68	3,473 (80.3%)	1,790 (41.4%)	113	1,903 (44.0%)
林道 施設	312 〈315〉	240 (76.9%)	9	249 (79.8%)	164 (52.6%)	12	176 (56.4%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた(廃工)箇所を除く。(令和2年12月末現在)  
〈 〉は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

## 3 現状

一定地域の被災箇所をまとめて発注したり、地域に精通した工事業者と随意契約をすることで、契約の箇所数は伸びている一方で、工事規模が小さく地権者との調整が必要なものでは、工事業者の確保に時間を要している。

また、多くの被害が発生した令和2年梅雨前線豪雨に係る災害復旧工事についても、査定が終了したことから順次工事に取り掛かっている。

## 4 工事の加速化に向けた県の取組

被災箇所が多く、工事着手が遅れている呉市、三原市、東広島市の農地・農業用施設のうち工事の一部を県で受託し、順次工事を進めている。

また、地域に精通した工事業者の確保に向け、次のとおり取り組むよう、引き続き強力で働きかける。

- ・地域の建設業協会に向けた、発注予定箇所や予定時期の情報提供
- ・工事業者に対する現場説明の実施と、施工実態に合った設計・積算の徹底
- ・入札事務の効率化と、早期契約のための随意契約の積極的な活用

さらに、地域外の業者の参入を促すために必要な経費(旅費等)の計上など、受注しやすい環境を整える取組を行っている。

## 5 今後の見通し

令和2年度中にすべての箇所の工事着手を目指しているが、一部の市町では、工事の完成が令和3年度にずれ込むことが確実なことから、被災者に対しては復旧時期の見込みなど、丁寧な説明を市町に要請するとともに、市町の実情に応じた効果的な対策を講じ、早期の営農再開に努める。

《農地・農業用施設復旧事例》

〈被災状況〉



〈復旧完了〉

